



看護師1年目を終えて

保健学科19期生
安間 友美

2020年4月から看護師として岡山大学病院 西2小児病棟で勤務しています。入院している子ども達は、とても可愛らしく、検温に行くと笑顔で話しかけてくれますし、廊下ですれ違うと「こんにちは！」と元気に挨拶してくれます。子ども達の笑顔が勤務中の癒しでもあり、もっと子ども達のために頑張ろうという気持ちになります。

その一方で、勤務中小児独自の看護問題に直面することがあります。例えば内服が苦手できない子どもはよく見られます。付き添いのお母さんと相談してシロップに混ぜたり、看護師で内服の応援をしたり

して頑張って内服ができるように策を巡らせています。また、MRIやCT等安静が必要な検査は、鎮静することがあります。鎮静の処置をすると、鎮静中呼吸抑制が起きていないか、覚醒後経口摂取できているか、覚醒しきれず興奮状態になっていないか等様々な観察を行う必要があります。成人と比較して小児の検査は大きかりで、観察すべきことも多いですし、付き添い者も検査を受ける子どもも負担が大きく頑張ってもらう必要があります。看護師として子どもが安心して検査を受けるためにどんな支援ができるか、悩むことがあります。先輩看護師とも相談して自分でできる最大限の支援をするように努力しています。

小児科病棟で大変なこともありつつ今はやりがいを持って勤務していますが入職した当初は、育児経験もない、先月まで看護学生で看護師経験も皆無な私がかちゃんと看護できるのか不安しかありませんでした。そんな時先輩看護師が些細なことにも相談に乗ってくださったし、自信を持って仕事をしている先輩の背中をみて沢山学ばせてもらいました。本当に先輩看護師の存在は大きいと思いました。先輩看護師に支えられながら入職して11ヶ月経った頃、とうとう私に長期入院の子どもが受け持ちにつきました。具体的に、ICに立ち会ったり、今後の治療方針を説明したり、看護計画を作成したりしました。1人の子どもに深く関わり、個別性のある看護を検討することで私の中でより責任感が高まりましたし、やりがいもより感じるようになりました。このことは、じっくり考えて看護過程を展開する良い機会なので、大学で学んだことに立ち返って自分がどんな看護を提供したいのか見つめ直そうと考えています。

4月から看護師2年目になりましたが、1年目の経験と大学で学んだことを活かして前に進んでいきたいです。

14年ぶりの懐かしい
岡山大学

看学第36期生 森恵子

2020年4月、母校である岡山大学に14年ぶりに戻って来ました。岡山大学医学部附属看護学校を卒業し、その後14年間、岡山大学病院の外科病棟で看護師として勤務しました。臨床実習指導者をしてきたことから、その後縁あって、岡山大学医学部保健学科で看護学生の教育に携わることになり、今年で22年目を迎えるようとしています。医学部保健学科に勤務していたときの元上司から、もう少し岡山大学以外のことを知らなくてはいけないと、岡山大学医学部保健学科で6年勤務した後、浜松医科大学(3年)、徳島大学(4年)、浜松医科大学(7年)に勤務し、総合大学、単科大学での看護教育を経験して来ました。そして、昨年4月、14年ぶりに岡山大学に戻って来ました。



かつて看護師をしていた頃の病棟は跡形もなく、病院自体も大きく変貌を遂げていました。また、鹿田キャンパスもはるか昔、看護学生だった頃の面影はほとんどなく、知らない建物が林立している状況に、かなり驚きと戸惑いを感じました。ここ数年、定年までの10年間は、できたら岡山に戻りたいという気持ちを持っていたところ、ラッキーなことに母校に戻れるチャンスをいただくことができました。ところが、喜んで戻ってきた途端、コロナ感染の拡大で、岡山大学着任早々、授業はリモート授業に変更になり、病院での実習もできなくなりました。助走もなく、目標もはっきり定められないまま飛び立ってしまったような感じで、何もかもわからないことだらけで、毎日が戸惑いの1年でした。

今、このときわ会レターを

書いている2021年3月は、まだまだコロナ感染がこの先どうなっていくか不安な中でも、ワクチン接種が始まり、少し明るい見通しが見え始め、中国・四国地方は、本来の日常に戻りつつある状況です。そのような中で、岡山大学病院の看護部の皆さんとの関わりも次第に増えていく中で、かつてお世話になった大先輩にお会いすることも、また、かつて共に看護師として働いていた後輩が、病院のあちこちでベテラン看護師として働いている様子を見るにつけ、本当に嬉しく感じているとともに、懐かしさでいっぱいになります。

今回、このときわ会レターを書く機会を与えてくださった保科ときわ会会長は、臨床で看護師をしていたときに、同じ病棟で働いていた憧れの先輩です。

岡山大学は、私の看護職としての原点の場です。今まで体験してきたこと、学んで来たことの総まとめがここでできたらと思っています。



退職によせて

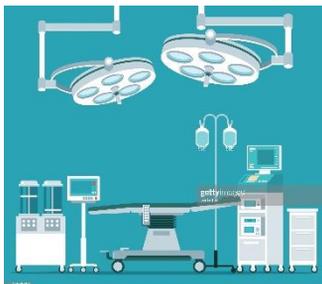
看学34期生 宗宮 昌子



今年度退職することとなり、看護学校時代からを少し振り返ってみました。

私は昭和56年に当看護学校に入学し、3年間の学生生活を経て、当院に就職しました。就職以降は37年間当院で勤務を続けることができました。学生時代は多くの学友と寮生活を共にし、習慣の違いに戸惑いながらも楽しく過ごしました。寮にはホールにしかTVがなく、私はほぼTVを見ませんでしたので、当時のアイドルなどピンときません。授業と実習と部活でいっぱいでした。実習は今よりもずっと実践的で、手術室実習では器械出しもさせてもらいました。病棟実習では6人部屋を丸ごと受け持ったこともありました。いろいろとおおらかだったのかもしれない。

就職後は手術部4年間、ICU5年間、北4婦人科病棟7年間、治験センター5年間、旧西3病棟(肝胆膵外科・消化管外科)3年間、西5病棟(尿器科・消化器内科)5年間、看護部管理室8年間と5~6年スパンで異動しました。



特に思い出深いのは、第一希望で初の勤務部署となった手術部と、西5病棟、看護部管理室です。手術部時代には初めての研究発表を全国学会でしたり、病院に導入されたばかりのPCを使ってマニュアルもどきを作成しました。あれもしたい、これもしたいとがむしゃらな頃でした。西5病棟が思い出深いのは、私が唯一看護部長として勤務したところだからです。現東西病棟移転時のこと、病棟再編と看護職員の大きな異動があり、西5病棟は新人6人と異動者で看護職員の半分近くを占める状態でした。しかも看護部長に至っては異動で、看護部長になりたてです。泌尿器科で腎移植をスタートさせるというプロジェクトもありながら、この病棟は大丈夫だろうかと不安でしたが、皆がとても前向きで打てば返ってくるというところでした。私が提案することに「する」を前提に話し合ってくれるありがたい環境でした。私が管理に興味を持ったのはこの経験が大きいと思います。

看護部管理室では、副看護部長として5年間、看護部長として3年間勤務しました。この8年間で学んだのは、人事の責任の重さと、労務管理の難しさ、経営のシビアさ、人に伝えることの難しさでしょうか。こういうとしんどいことばかりのようですが、うれしいことも多々ありました。今年度はコロナの影響が大きく、職員にたくさんのコロナ対策をもらい、日常生活においても制限を強いてきました。もちろん不満や苦情は多々ありましたが、それでも意見を出し合ってくれ「何とかする」で第3波まで乗り切り、次の準備をしてくれています。私は恵まれた環境で働いてきたのだなとつくづく思います。

春が来て私の仕事に一区切りがつかます。37年間付き合ってくださったたくさんの方々感謝しつつ。

連絡先 岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学病院 看護部内 ときわ会事務局

ときわ会ホームページ <http://tokiwakai.net/>

TEL 086-235-7802, 6090

43年間の看護師生活を終えて

上山 京子

43年前、岡山大学病院第2外科(当時の寺本外科)配属となり、3年間勤務しました。胸部外科と血管外科が主流の科で、初めて経験することばかりでした。当時は、毎日のように先輩の部屋を訪ね、分からないことを教えてもらったり慰めてもらったりしていたことを覚えています。その後、縁あり地元へ帰り結婚、近くの病院へ再就職し、このたび43年間の看護師生活を終えることができました。その間、多くの方との出会いがあり、様々な勉強をさせていただきました。また、出逢った患者さんからの感謝の言葉や優しさに助けられ、今日まで日々楽しく仕事を続けることができました。

16年前には、人生の中で一大事を経験しました。夫が大病を患い、6年間の闘病・介護生活の末59歳で世界しました。大変な時期ではありましたが、職場を始め、周りの方々が協力くださり、なんとか看護師を続けることができました。当時の上司に「介護ばかりは疲れるから、大変だけど仕事を続けながら介護をしたほうが続くよ。できることがあったら協力するよ」と声をかけていただいたことを今でも覚えています。

病院の中の看護しか知らなかった私ですが、数年前、看護協会の認知症委員会に出たことがきっかけで、地域では色々な職種の方を巻き込み動いていることを知り、とても感動しました。そして、自分もお世話になっている地域で何かお手伝いできればと思い、6年前から愛育委員にならせていただいています。今私の住んでいる地域は若い人が多く出生率も高い地域です。生まれて数か月たった赤ちゃん訪問もさせていただいています。

これから先、今まで仕事でやってきたことを生かし、赤ちゃんから年長の方までしっかり声かけをし、健康長寿の地域を目指し頑張っていこうと思います。



ときわ会総会開催

日時：2021年7月7月31日(土) 13:30-

オンライン開催とします。同封の案内状をご覧ください。往復はがきで申し込みをお願いします。

100周年記念式典開催

ホームページ上で開催します。

見に来て下さい。記念講演会、写真展等々、8月以降に掲載予定です。どうぞ期待を!!

お知り合いの卒業生の方には是非お声をおかけ下さいませ。入会されると、ときわ会レター(毎年)、ときわ会誌の送付(4年毎)、総会の案内(4年毎)を送らせていただきます。

ときわ会会則(平成25年8月3日改正)

第四章 会計

第5条 2. 会費は終身会費とし、8,000円とする。

口座番号：01230-3-10444

加入者名：ときわ会

振込用紙：ゆうちょ銀行 払込取扱票(薄い青色の用紙)

住所変更をお知らせください。